

① インターネットやスマートフォンを扱う上での身近な問題の例が、記事の中に書かれています。抜き出しましょう

SNS への書き込みや迷惑メール、歩きスマホなど

② 清水さんのグループが発表した、2つの「インターネットトラブルの予防と対策」を、文章中の言葉を使って説明しましょう。

危険性を学ぶ機会を増やすことと、親がトラブルにいち早く気付くための既存アプリの改善

③ インターネットやスマートフォンを使う上で気を付けなければならないことを、自由に書いてみましょう。

ネットやスマホ、話し合う全国サミット



東明高が参加校に

全国サミットに参加する清水さん（前列右）と大分会場の参加メンバー＝19日、大分市

インターネットやスマートフォンといった情報通信技術（ICT）の在り方を話し合う「高校生ICTカンファレンス」全国サミット（11月3日、東京都）の参加校に、大分市の大分東明高校が選ばれた。代表して参加する3年生の清水茉結さん（17）は「ネットトラブルは身近な問題。県代表としてしっかり発言したい」と意気込んでいる。

ICTカンファレンスとは、携帯電話やインターネットを安心安全に使うための情報モラル向上や、初対面の人とのディスカッションスキルなどを高めることが目的。本年度はインターネットトラブルの予防と対策をテーマに大分を含む全国14会場が開かれた。各会場代表校を選び、代表校から1人が全国サミットに参加する。サミットでまとめた提言は代表者が関係省庁に伝える。今回で4回目となる大分

代表者の清水茉結さん（3年）

「しっかり発言したい」

会場（県、ハイパーネットワーク社会研究所など主催）は2日に大分市の県消費生活・男女共同参画プラザで開催。県内の11高校から48人が参加した。大分東明高校からは3年生8人が臨み、SNSへの書き込みや迷惑メール、歩きスマホなど身の回りで起きている問題を洗い出し、予防や対策を検討した。

清水さんのグループでは、子どもがトラブルに巻き込まれないためには予防が大事と考え、危険性を学ぶ機会を増やすことを提案。子どもがトラブルに巻き込まれていないことを親がいち早く気付くために、既存アプリの改善案も発表した。

全国サミットに向け、大分会場の参加メンバーの牧大陸さん（18）は「スマートフォンの利用マニュアルの配布案をぜひ伝えてほしい」との思いを託した。清水さんは「大分ではまだ役に徹したが、サミットでは自ら提案できるように頑張りたい」と話している。

（池田美香）

（2016年10月21日付夕刊社会面）

いろいろな観点がありますが、功罪を知って使いこなすことが大切です。